

2024_0503「森の北斗七星 (写真)」日々の理科 3557号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

日本では「北斗七星」が見えるのは当たり前です。北海道の北の端から、沖縄や父島でも北斗七星は確実に見えます。ところが、南半球では事情が異なります。北斗七星が当たり前に見えるわけではないのです。たとえば、日本とほぼ同経度のオーストラリア北部のケアンズ（南緯 17 度）では、北斗七星は北の地平線わずかに 15 度程度しか昇りません。もっと南のシドニー（南緯 34 度）では、北斗七星はほぼ地平線下で観望はできません。

今日の北軽井沢は朝から晩まで快晴でした。夜になると星が非常に美しく、私の山荘の庭からも北斗七星が見えました。ちょうど「ひしゃく」が下向きに寝ている形で、高い空に見えました。たった 5 秒の露光で撮影できました。右から 2 番目の星が「二重星」ということもよくわかります。

私の夢の一つは、国内で「南十字星（みなみじゅうじ座）」を見て、写真を撮ることです。沖縄本島（北緯 26 度）や父島（北緯 27 度）では無理で、南十字星の「全貌」を見るには、石垣島（北緯 24 度）まで行かなくてはなりません。是非石垣まで行って、良い教材写真を撮ってきたいと思っています。

(2024 年 5 月上旬 / 北軽井沢)

